

# 関東アコーディオン演奏交流会

第32回  
準備会 5号

## 実行委員会ニュース

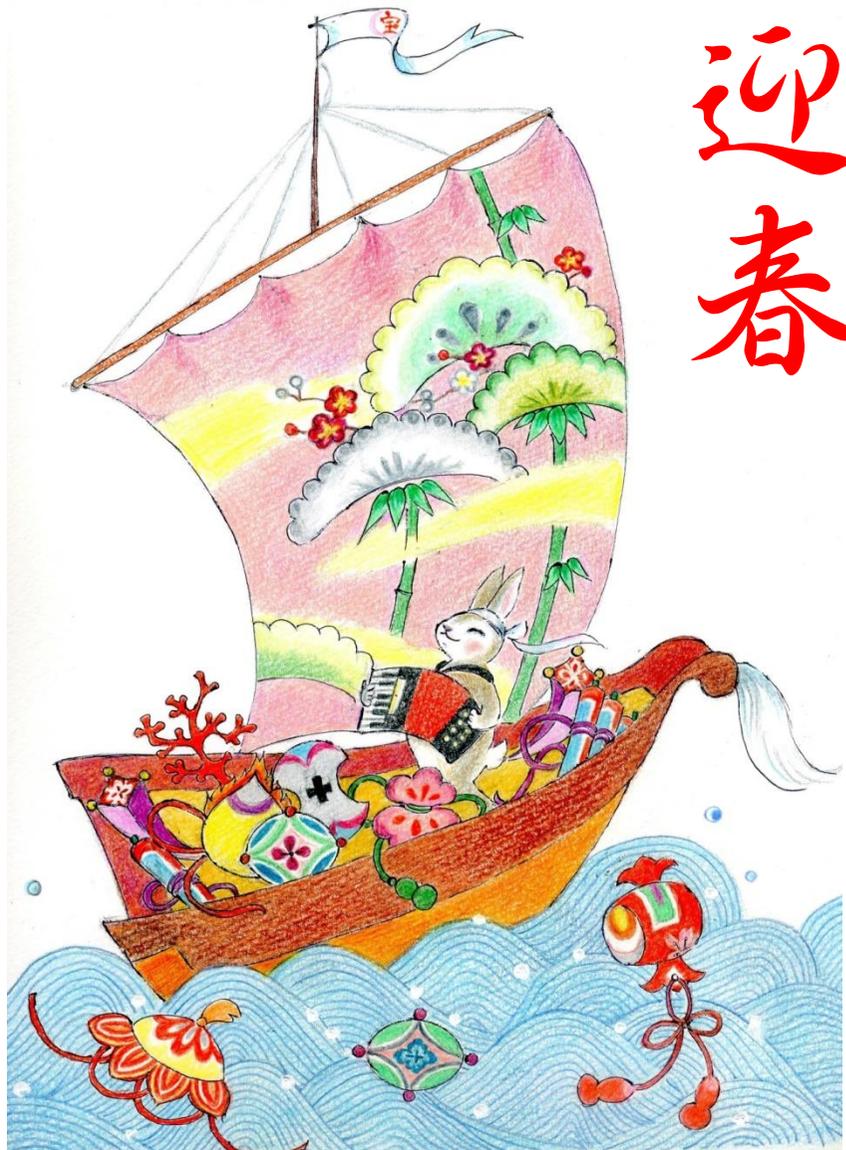
ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>



QRコード

2021.1.26 発行  
編集 広報部

今年も元気でアコの音を響かせましょう！  
波立つコロナの海を乗り越え  
本年もよろしくお願ひ申し上げます



# 迎春

### 目次

- 議事録より…2～8P
- ウインドバスカーズ第 61 期初級教室修了演奏会…9～10P
- 音楽センターアコーディオン科三多摩教室「第 10 回ぬくもりコンサート」…11～12P
- アコ・ネット～f2020 のつどい「アコ・フェスタ」…13～14P
- 「JAPC オンライン忘年会 2020」に参加して…15～17P
- ホワイトボード…18～19P

拡大実行委員会 (12月のZoom会議) より 12月13日(日) 19:0021:00

参加者: 浅川 宇野 小神 乙津 佐々木 柴崎 (審査事務局) 田中 塚本 築山  
東谷 松井 (アイウエオ順、敬称略)

築山 (司会)・・・途中から参加される方がいると思いますが始めます。今日は柴崎先生が参加くださっています。先生のところには話している人しか映らないそうですがよろしくお願い致します。

始めに、前回から一カ月経過したので千葉アコの東谷さんから近況をお知らせください。

東谷・・・先月も少し話しましたが、やっと10月から再開して、きのう(12月12日・土)久しぶりに森先生にご指導いただきました。その間に退会したメンバーが数名いて現在12名です。また、10数年来男性だったサークルの代表が女性に替わりましたので雰囲気は随分変わると思います。

練習形態は、第1、第2、第3の土曜日が練習ですけども、全体練習は第1と第3にして、第2は個人レッスン、個人の技量を高めたいという皆さんからの希望で個人レッスンにしました。

佐々木・・・練習が終わって帰宅するとこの時間になってしまいます。

55アコはメンバーが5人と弱小なので、隔月で、合奏を関先生に見てもらい、独奏を稲葉先生に見てもらっています。今日は稲葉先生のレッスンを受けてきました。

久しぶりに、2カ月に1回なのですごく楽しみにしていて、やっぱり、直接レッスン、指導受けるのは全然違うねっていうことで意気揚々と、課題をたくさんもらって帰ってきたところです。来月1月は関先生の合奏のレッスンの予定です。当面は、夜の自主レッスンは全部お休みにして、月の第2日曜日だけ練習をしています。

11月発行のニュースに載せた、近所の公園でアコーディオンでオブリビオンを弾いていた二人の記事のことで、ニュースを読んでもくれた方が「あの二人 JAA インターネット わくわく広場で選ばれて12月26日、北と

ぴあで生で演奏することになった人だと思よ」と電話をくださりました。

乙津・・・南部教室は、毎年春に行っているスプリングコンサートを来年3月21日(日)開催に決めました。今までコンサートに使っていた会場が取り壊され、代わりに今年夏武蔵小杉駅前に完成したビルの4階に移転したので、実現すれば新しいホールでのコンサートになります。

小神・・・土曜教室は新人が増えていて、昨日も30歳前後の女性の方の歓迎会を、練習後サイゼリアで行いました。このところ女性の比率が高くなった感じです。

教室の合奏で「薔薇のタンゴ」を練習していて、関先生の編曲だと高音域の「ソ」まで出てくるのに今使っている楽器には「ファ」までしかなく困って、エキセルシァー41キーの割と新しい311という楽器をオークションで12万円で落札しました。

塚本・・・柴崎先生、JAA わくわく広場では、演奏した合奏にいろいろ評価いただきありがとうございます。頂いたコメントに沿って練習しています。

横浜アコ愛好会はコロナにめげず毎週練習をしています。合奏曲では、新しく音楽センターの合宿に行ったときの川口先生の「オペラディ・オブラダ」に挑戦しています。わくわく広場では、独奏、アンサンブル、合奏、それぞれコメント頂き入賞したようです。

宇野・・・ともしびは今お休みの人もいますが「津軽のふるさと」と「高原列車は行く」と「リパブリック讃歌」を練習しています。これから「ウィリアム・テル序曲」と「山小屋の灯」の練習を始めようと考えています。あと、金曜教室ですが、人数が減りパートが足りなくなったのでちょっと大変っていう感じはあるけども、レギュラーメンバーがい

る中で出来る曲を練習しています。

田中・・・金曜教室のことは、いま宇野さんが報告した通りです。

他では、三多摩教室のコンサートの裏方を手伝いに宇野さん、キャップの鈴木さん、佐藤さん、私も行ってきました。音楽センターのアコーディオン仲間としてお互いに助け合っています。

築山・・・三 AC の活動は、今行っていない。個人では、田中さんが話したように三多摩教室のコンサートの司会を頼まれて行ってきました。教室のキャップや講師の川口先生も言っていましたけど、「この時期にコンサートをやるっていうことはみんなの励みにもなるし、すごく大事なコンサートだ」ということでした。相当大変だったと思うけれど、みなさん終わってから座席の消毒をしたり、会場から言われていたことを徹底して、無事コンサートができてよかったです。柴崎先生、先生の近況と JAA、あと審査事務局で来年の関東アコに向けて話していることがあれば報告してください。

柴崎・・・個人的な演奏はコロナ禍で軒並みキャンセルです。教室は個人事業で、個人レッスンのように一人一人は通って来れるので仕事はあります。6月に予定していた音楽センター柴崎教室の発表会も、やっぱりコロナが怖いので9月20日に、教室だけでやりました。

この状態で大変なことだけれども、集まって皆で自分たちの音楽を聴きあうと力をもらうんですね。嬉しいし、みんなに合えるし、いろんな人の演奏を聴いて、“やっぱり、音楽ってこういうときこそ大事だね”って確認できる時間でもあった。来年もどうなるかわからないけれども、予定して前に進もうと6月に会場を取りました。

JAAの方は、先ほど話されたように「インターネットわくわく広場」に参加していただいて、結構人気ありました。画像をアップするには時間が必要なんですね。1回で、一発で終わるわけではないので、勇気もいるし、

でも、最終的には80数名参加されました。ありがたいことです。

音楽って、もちろん一人で楽しめるんですけども、みなさんに聴いてもらったり、時間を共有したり、やっぱりコンサートなどは大事な場所なんですね、それが無いので、今回「わくわく広場」っていうのができて、良かったのは、みんながコメントを書き込める、おたがいに「良かったよ」とか色々コメントをもらえてすごくうれしかったっていう声を聞くので、こういう場が持ててすごく良かったかなって思います。

先程話のあった12月26日のXmasフェスタも、面白そうな中身なので開催出来ればいいなと思っていますけど、この状況なので今週中に判断するようです。

丸茂睦君とか、佐藤将さんとか中心になって立ち上げてくれましたけれども、若者らしいアイデアを出してくれました。そういう意味ではこのわくわく広場っていうのは、いわゆる JAA という枠の中から外にも呼びかけるという形で、また、このコロナ禍の中でどうやってみんなとコンタクトをつくって音楽を楽しんでいくかっていう意味ではすごく大きな事業だったんじゃないかなって思います。

事務局会議の方は、太田智美さんとは会って話はしていて、今年は関東アコが中止になったことでお互いの生徒も寂しい思いはしているんですね。「弾きたかったんだけどな」とか、それから、もう来年の話をしています。来年はグループですかね、個人ですかねって、個人だったらどの曲がいいですかねって話をしている人がいるんです。それだけやっぱり楽しみにしているっていうか関東アコっていう位置付けがものすごく大事なものになっているんだなって再認識できています。

どう開催していくかっていうのは難しいんだけど、大田さんと話をしたときには、出来れば開催っていう方向で進められたら一番いいよねっていう意見でした。ただグループだと、まず合わせがなかなかできていないと思いますよね。だからグループでなくて個人の形でできないかなと話しています。

それから、例えば、これは太田さんとは話していないんだけど、いま海外でもコンクールがありまして、リモートコンクールなんです。普通だったら会場へ行って、フランスとかドイツとかへ行って旅行費を払って参加費を払ってコンクールするんですが、今回ちょっと新しい形で、どこにもその画像を出さないっていう決まりで、他にも1カ月以内の映像で、とか、エコーも付け過ぎないとか、どの程度までとはまだ書いてないけれども、あと、画面から何メートル離れてとか一応そういう基準はあるんですけど、みんな同じ条件にしようっていうことなんです、それでコンクールを行われました。

そうしたら、参加者が700何名、すごかったです。12 カテゴリーかな、あるんです。将来プロになる人のためのと、一般の人のためのと、子どものためのと、あと99歳、100歳誰でも参加できるものとか色々カテゴリーがあるんです。

そうすると東欧の人達には上手い人はいっぱいいるんですけど、今までは渡航費が掛かったりで、なかなか参加できなかった人たちもリモートならできるということで今回すごく参加者が多かったんです。だから11月に終わるはずでしたが、12月までかけて採点するそうです。

そういう形があるっていうことは、関東アコム、最悪の場合はそういう動画で提出してもらって、私たちも他の人には見せないという条件でやる形もあると思うんです。結果を発表するときは、Zoomって一度に何人は入れるんですか(100人までです)じゃあ、そういうところで発表することも出来るから、そんな方向性もあるのかなと、これはまだ審査事務局会議の中では提案していませんけれども一人では考えています。

学びあえたり、交流する場があることで目標にもなるんです。皆さんもすごく楽しみにしているので、来年はあるっていう方向でいったほうが良いと考えています。

築山・・・太田先生と話している内容を報告して頂いてありがとうございます。

私も三多摩教室の発表会の会場で大田先生と話す機会があって年内には審査事務局会議を開き、なんとか方向付けをしていただきたいとお願いしました。

滝野川会館を利用する場合、例えば“舞台に乗る人数は何人まで”とか情報として集めなければならない。11月の実行委員会でも、「コンクールにこだわらなくても何かやろうよ」ということではみんなの気持ちが動いていると思っています。そこで、先のことはわからないけれども、とりあえず会場を押さえたら何かできるかなと先生の話聞きながら思いました。みなさんはどうでしょうか。

佐々木・・・1回(1年)休んだだけで、みんなから“次はどうするの”って聞かれるので、やっぱり長く休むのは良くないと思います、やった方がいいと思います。

ただ、合奏は難しいと思います。いま練習ができない状態なので、だから柴崎先生がおっしゃったようにソロとせめてデュオぐらい、オブリビオンの人達のような。

また、いろいろな制約があってキャンセルになったら、またそれはそのときに対応すればよいと思う。そうでないと、たぶん待っている方もしびれを切らすかなと、だから見えるところに目標があった方がいいのかなと思います。

柴崎・・・前々から準備をしなければいけないので急には難しい。だから佐々木さんが言ったように予定は立てておいて状況に合わせてやらないと進まないと思う。例えば、会場をとるっていうことも、1つの方向を向いてということになると思うんです。それをしないとどうにもこうにも進まないの、会場をとる準備をしていったほうがいいのかと私は思います。

築山・・・千葉からは、滝野川でやるとなる遠征してくることになる。そういう点で千葉の方たちはやっぱり考えますよね。

東谷・・・う～ん、抵抗もないことはないんですけどね。ただ合奏ではなくソロっていうことになるそれは個人の意識なので、例え

ば僕なんかはソロだったらまた出たいと思います。

立川の「アコーディオン喫茶かるふる」では、毎月アコーディオンを演奏し合っていて楽しんでおられるようですが、実は、千葉でも「かるふる」千葉版ともいうべき、「千葉鍵盤の会」というのを大岡さんが主宰しています。これは、アコーディオンだけでなく鍵盤、例えばピアノでもいいし、アコーディオンとギターとかいろんなアンサンブル形式でもいいし、とにかく鍵盤楽器が何か入っていれば、という形で色々交流をしているんです。積極的にその場に参加している人たちに声を掛ければ多分そのうちの何人かは関東アコのソロに出てくる人たちがいると思うんですね。東京に行くことは確かに抵抗はあるにしても、それは、なんとか気を付けていこうという気持ちでやる気になったら出ると思います。

佐々木・・・ソロの方が参加しやすいっていうことよね。

東谷・・・どちらかといえば合奏は難しいと思います。ただ、この間 JAA インターネットわくわく広場に「フレンズ」というユニット名で参加して、3人で「コラソン・デ・オロ」を弾いたんですけど、あの3人は今度もしあったら出ようと言っていますし、だから、3人ぐらいだったら出てもいいよみたいな、人数制限じゃないですけども、デュオじゃなくて3人ぐらいまでなら何とかということにしていただけなら我々はお出たいと思っていますね。

柴崎・・・そういう事情があるなら、一番いいのは会場に来て弾いたり聴いたりするのがいいんだけど、リモートになった場合、一応ソロのコンクールだったとしても、例えば、一部アンサンブルの部門をつくっておいて、重奏とか合奏とか普通は分けるけれど、それを分けずに1つのグループにして、1位、2位、3位というスタイルじゃなくて、全員の先生からコメントをもらえる、JAA インターネットわくわく広場の意義をちょっと入れたみたいな感じにして、ソロは普通通りコン

クールの形にして行えば、そういう形でアンサンブルをつくれれば、活動しているグループに参加する場をつくることは出来ると思う。

1位、2位、3位は無いけれども全員からコメントをもらえる。そういう形にすればリモートの場合ありえますよね。

オーケストラは絶対無理だと思うので、そういう形の開催もありですよ。東谷さんの話を聞いて思いました。

東谷・・・先月ちょっと話が出ていたと思うけど、例えば、関東アコはずっとコンクール形式でやっていますけれども、この時期ですから、広く参加を募る、求めることからして、コンクールという形態をやめて JAA みたいな形で自由に参加できる、ソロとか2~3人のアンサンブルだったらいいと、そういう形でやるのもいいかなと思います。

柴山・・・東谷さんとかの意見もあるけれども、審査事務局としてはやはりコンクールの形は取りたいですよ。

柴崎・・・やっぱりコンクールっていう形は大事なんです。コンクールっていうのは学びの場でもあるからね。もちろん交流の場でもあるんだけど、第1に学びの場として先人の先生方も行ってきたわけだからそれだけ大事だなんて思うんです。

いま日本で残っているコンクールは関東アコと JAA が4~5年に1度なので、やっぱりそこは持っていた方がいいかなと思う。ただ、今言ったようにアンサンブルを1部門としコメントを出す部門を作るとかは、こういう状態だからやってもいいかなと思うけれども、コンクールという形態はやっぱり残しておいた方がいいかなと思いますね。そこは1つの目標にもなるんです。

もしそういう場をつくりたいのであれば、わくわくに出るっていうのも1つの手ですけども、9月のコンクールとは別の形で、例えば1年間あるから、半年後の3月頃やるとか、可愛い名前を付けてリモートで交流の場をつくる。そういう形はあると思います。

宇野・・・モチベーションが下がっちゃうの

で、何か目標が欲しいねっていうことで、ともしびは7月に何かやろうと考えてはいるんです。だから9月に関東で何かをっていうのは、やっぱり目標があったら金曜教室もそこに向かって、じゃあ頑張ろうっていうふうになるに違いないと思っています。それに向かって演奏を磨いていくというのも必要ですよ。

リモートでやる場合、誰かが責任を持ってそれを必ずやらなければいけない。そういう人がきつと出てくるわけで、わくわくでいうと佐藤さんがかなり柱になってやっていることを小神さんがやることになるのかなって考えてしまうけれど、みんなも苦笑いしているけれど、リモートの方が多分大変ですよ、いろんな意味でどうなんだろう。

塚本・・・たまたま職場が介護の職場であったり病院だったりの人達は、そういうところに出るっていうのはちょっとためらっています。特に合奏での参加の場合は、そんなことを考えれば人数が制限されると思います。なので、個人の独奏の方がいいんじゃないかなと思いますけど、ただ、会場を押さえるのであれば3月に抽選会があるので押さえられたとして、6か月あればと思うけれど自分たちの練習が実際にどこまでできるかによって合奏で出られるかは変わってくると思います。

乙津・・・人によってとらえ方は違って、積極的に練習している人は、9月は今まで1つの目標だったということで来年の9月に向けてこの曲を練習するって、仲間に公表している人も中にはいます。

実行委員として考えると、コンクールにするとなると審査員の先生方、かなりの時間拘束しなければいけなくなる。演奏する人は自分の演奏が終われば帰ってもかまわないっていうのはあるけれども、審査員はそうはいかないから午前から午後まで長い時間、ずっと拘束される。同じ場所に長い時間いるっていうことが1つネックになるんじゃないかなと思う。基本的な対策として換気だとか途中休憩を増やしてとかやり方はあると思うけ

れども、拘束時間が長いだけに非常にお疲れになるんじゃないかなあと、演奏する人は会場は広いから終わったあと人との距離を取り乍ら客席で聴くことは可能だと思う。3月に会場が取れて、コンクールをやることになったときに審査員になって下さる方が確保できるのか心配はあります。

柴崎・・・まあ、それは大丈夫でしょう。離れて座るしね。会場を移動すれば、楽屋に戻ってまた会場へ入るとか、例えば審査員の人数をもっと減らすことは出来るし、大丈夫です。

佐々木・・・会場も時間で扉を開けて換気をしなればいけないんでしょ、そういう意味ではいつもよりは人数も限られてくるでしょうし、休憩時間をこまめに取って空気の入替えをしなくちゃいけないから、そのときは先生も外に出てもらおうとか。

築山・・・浅川さんが見えました。いま各団体の近況を聞き終わったところで、来年の関東アコをどんなふうにしたいか話をしている、何らかの形で実現させる方向でみなさんにいろいろ意見を出してもらっていました。前回から1カ月経ったので、埼玉の状況を教えていただけますか。

浅川・・・ウィンドバスカーズは、第61回の修了演奏会を11月28日に無事実施できました。お客様もお友達が中心ですけども、我々も入れて50人程になりました(定員の半数以下)。

それから、1月に予定していた川越サークルの演奏会ですが、やはり難しいということで中止にする、と今日埼玉アコ協があつて報告されました。いま埼玉アコ協の中では来年の合宿をどうするかということで、これからアンケートをとるとか少しずつですけれども動いているところです。

築山・・・浅川さんが加わって下さったんですけど、1時間ぐらい経つので10分ぐらい休憩して8時15分から再開します。9時には終わる予定です。

・・・・・・・・・・小休憩・・・・・・・・・・

築山・・・来年は何らかの形でやろうという方向が見えてきたかなと思います。

柴崎先生、この会議の話をも永先生や大田先生に持って行って、審査事務局としても方向を考えて頂きたいと思います。そして実行委員会とすり合わせをすればと思っています。みなさん、会場は取るっていう方向でいいですか。

佐々木・・・キャンセル料が発生することになったとしても、それはそれではないと思う。こういう時期だから状況が許さないっていうことになればキャンセル料はまた取らないと思います。9月開催を変えないのであれば3月に取らなければならないのでキャンセル料は心配しなくていいんじゃないかと思います。

築山・・・会場は押さえるということでしょうか。(はい)

次は、内容ですね、個人レッスンされている柴崎先生の教室の皆さんだとか、他でも「合奏を」と言ってきたところは少ないので、ソロにしたらかどうかということです。

で、もしできるのであれば、リモートで人数制限をして、重奏もちょっとできるようにという意見もありました。あと、1日がすごく長いですね。いくら換気しても長い時間その場にずっといるのはどうなのかということも考えると、来年実施するときには人数制限を掛けるのもいいのかなって、皆さんの話を聞いていて私は思いました。

佐々木・・・申込期間を短くして、今年はこの状況なので何人までということにさせてもらう。それは先着だよ、先着何名様。(そうですね)そういうことでもいいんじゃないのかな。

宇野・・・募集はまだ先になるけれど、参加費は払い込まれてしまうと返金が大変なので、来年の参加費の扱いは工夫したほうがいいと思います。

築山・・・松井さんが見えました。こんばんは、先程、浅川さんから埼玉の協議会があったということで、話は聞きましたが、松井さんのサークルの状況などお聞かせください。

松井・・・私のところは、今のところ常時出てくる人は3人しかいないので、なかなか活動が厳しいというか、個人レッスンするには一人3~40分見てもらえるからいいんですが、というところで、特に変わったことはありません。

築山・・・やるには、まず会場を取ろうという話で、あと、中身ですけど、新宿区は、今、舞台に3人しか乗れないとかの規制がかかっているようなので、北区の滝野川会館がどんな形かはこれから情報を集めますけど、ソロをやるのが無難なのかなという話をしているところです。ソロをやるにしても、関東の場合申し込んだ人全部受けちゃうとすごい人数になってしまうので、人数制限を掛けたらどうかというところで、松井さんの登場でした。

埼玉からも、いろいろ皆さん参加されていて、シニアとか一般上級とか多かったんですけど、関東アコがあると励みになるという意見は聞いていますか。

松井・・・まだ直接は聞いてはいませんが、やっぱり、毎年開いていたものがなくなると、今年はアンサンブルだとか、今年はソロだとか、2年間準備をする期間があるので、じゃあ次のために用意するというのはあると思います。まあ、アンサンブルでもソロにしてもどちらかあった方がいいのかなと思います。

築山・・・そうすると、塚本さん、瀧野川はこれから私の方で連絡をとってみますけども、抽選会の日にと決まったら実行委員のメンバーで行ける人を確保しないと、

塚本・・・抽選会は例年と同じで3月1日になるんじゃないかな。月曜日だね、誰が行けるか調整します。

築山・・・柴崎先生、来年9月に行うとなった場合、先生の予定はありますか。

柴崎・・・いまコロナの影響で決まってないから先にこっちで決めちゃった方がいいと思う。9月の連休の辺りが一番みなさん参加しやすいですよ。

築山・・・柴崎先生は9月23日は都合が悪いんですね（はい、演奏が入っています）9月19日がいいということです。

柴崎・・・他にも12日（日曜）とか26日（日曜）とかもあるけれど1番いいのは翌日休みになる19日が皆さん参加しやすいと思います。19日を第1希望と決まれば大田さんに伝えておきます。

築山・・・今日ここに参加されているみんなは、9月19日の日曜日は、さっき宇野さんが言われた日歌の関係がわからないんですけど大丈夫ですか。関東はいつも9月なので、教室とかサークルも9月を外してイベントを組んでいると思うので。

宇野・・・東部の歌声は20日なので、19日であれば重なりません。

塚本・・・ただ、抽選だから第1希望は19日でいいけれども、19日が取れなかった場合次の希望はいつにするのか。これは2月の実行委員会のときでもいいですけど。第2希望、第3希望と出してもらわないと取れない場合もありうる。（そうですね）

柴崎・・・私が聞いている範囲では、9月の遅い方がいいらしい。来年合宿ができるかどうかわからないけれども、9月の第1週のときもあったけれど。合宿が終わってすぐはきつかった人もいました。そうすると例えば26日を第2希望にするとかの方が嬉しいでしょうね。（なるほど）

浅川・・・現役だと9月後半は学校の運動会なんですよ。ただ、19日あたりはあまり聞かないので大丈夫だと思います。（最近、運動会を土曜日にやるところも多いですよ）

柴崎・・・私の教えている生徒さんも、昔は先生とか保育士さんとか多かったんだけど、最近の若い生徒さんの職業が違ってきましたね。前は、教員が多かったこともあって学校行事に合わせていろいろ決めていたけれど、会社員とか、20年前と時代が変わってきているんだなと思いますね。

学校の先生は仕事でも使えるようにとか、保育士だったら一緒に歌いたいっていう要求から、最近では個人的にもアコーディオンを楽しみたいっていう要求が増えてきたっていうこともあるんでしょうね。そういうふうには楽器として楽しみたいっていう人が増えてきたっていうことは嬉しいことですけどね。

築山・・・今日は方向性が見えてきて会場取りの話までできた。第1候補が9月19日（日曜日）、第2候補が26日（日曜日）というところまで決めましょう。内容に関しては、ソロがいいのではないかという意見でした。また来月こんな形でZoom会議を持ちたいので、教室とかサークルで、9月の関東アコはやる方向で話合っているけど、どんな形だったら参加できるか、そんなところを聞いていただければと思います。

築山・・・関東は30年間コンクール形式で続けてきたので、この形は外さない方がいいかなとみんなの話を聞いていて思いました。柴崎先生、方向が決まったら審査員の先生は審査事務局の方でお願いすることになりますが、大丈夫でしょうか。

柴崎・・・はい、大丈夫です。元気なのを集めます。

築山・・・新鮮な新しい弾き方の審査とかも演奏される側は嬉しいんじゃないかと思っています。ぜひその辺もご検討ください。時間も来ました。次回1月の実行委員会は1月24日（日）夜7時から



でいいですか。（はい）（はい）では終わります。お疲れさまでした。